

栃木県佐野市において 「佐野ソーラーウェイ(16.6MW)」メガソーラー発電所が竣工

グリーン・コミュニティの実現を目指す日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:山下 哲生、以下「日本アジアグループ」)傘下のJAG国際エナジー株式会社(代表取締役社長:坂根 多加弘)はこのたびメガソーラー発電所「佐野ソーラーウェイ」を完成させ、竣工式を執り行いました。

「佐野ソーラーウェイ」は、栃木県佐野市にある旧サンモリッツカントリークラブゴルフ場跡地を有効活用した出力約16.6MW規模の太陽光発電所で、発電される電力は全量を東京電力エナジーパートナー株式会社に売電いたします。

引き続き日本アジアグループは、再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもと、これまでの実績により培った技術とノウハウを活かし、地域特性にあわせた再生可能エネルギー施設の開発を行ってまいります。

■ 「佐野ソーラーウェイ」概要

立 地 場 所	栃木県佐野市
立 地 面 積	約 180ha(内、約 35ha)
出 力	約 16.6MW
パネルメーカー	ソーラーフロンティア(株)
EPC※事業者	大林道路(株)、 早水電機工業(株)、 栗原工業(株) 特定建設共同企業体



※「Engineering(設計), Procurement(調達) and Construction(建設)」の略。設計、資機材調達、製作、建設工事を含む一連の流れの事を指す。

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-4476-8007 e-mail: press@japanasiagroup.jp URL: <https://www.japanasiagroup.jp/>